

# 施策評価シート

担当課：教育総務課

## 1 総合計画上の位置づけ

施策名	教育環境整備
政策名	明日を担う「人」を育てる
施策がめざす将来の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全で充実した教育環境の中で、児童生徒が安心して学んでいます。</li> <li>地域の豊かな食を生かした、安全でおいしい給食が提供できています。</li> </ul>

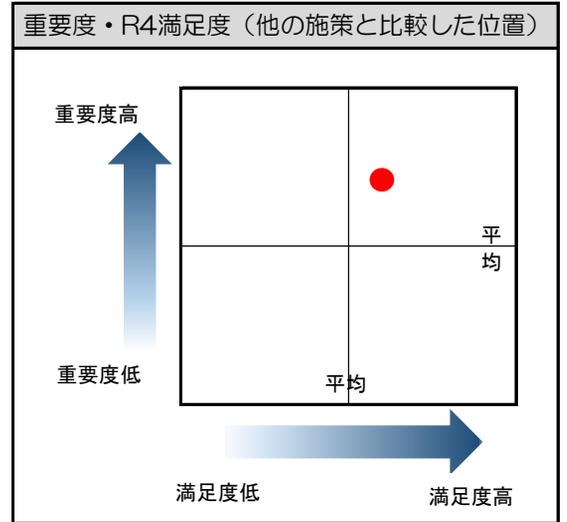
## 2 施策評価指標

成果指標名	単位	基準	令和4年度目標		令和9年度目標
教育施設の建築基準法12条点検による改修率	%	0	50		100
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	0	0	0	0	0

## 3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

重要度／単位（％）
令和3年度
99.4

満足度（満足している市民の割合）／単位（％）		
令和3年度	 DOWN	令和4年度
92.5		91.2



## 4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

学校施設は建築後30年以上経過しているものが多く、経年による老朽化が進行しています。従来の改築中心の対策から、計画的に維持保全する長寿命化へ転換することにより、中長期的なトータルコストの縮減・予算の平準化を図っていきます。

また、省エネ及びコスト削減の観点から、学校施設証明のLED化を進め、快適な学習環境の整備を図ります。施設整備における課題として、改修工事には多額の費用を要することから、国庫補助金等の財源の確保、学校施設整備基金の活用を図る必要があります。

留守家庭児童教室については、入室希望者のニーズ多様化、職員確保などの課題があり、今後の運営方法について検討していく必要があります。

## 5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

（右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに○、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。）

### 事務事業名①：奨学資金貸付事業

R4決算額 （千円）	重点化（縮小）する細事業 （主なもの2事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
19,093				進学の意欲と意欲と能力を有する学生を支援するため、修学上必要な資金を貸与する事業です。本事業を広く周知し、支援を必要としている学生に貸与することで、有能な人材の育成に寄与できるよう取り組みます。	

### 事務事業名②：放課後子ども教室事業

R4決算額 （千円）	重点化（縮小）する細事業 （主なもの2事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
7,455				放課後や学校休業日に地域住民の参画を得て、学習活動、スポーツ、文化活動及び地域における多様な体験活動を実施し、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進めます。	

### 事務事業名③留守家庭児童教室事業

R4決算額 （千円）	重点化（縮小）する細事業 （主なもの2事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
93,714	留守家庭児童教室事業	↗	↗	施設は、桜小、瀬尻小で教室を建築予定。多様化する入室希望者のニーズに対応し、職員の確保をしやすくするため、事業の運営形態（委託等）について検討します。	○